

# ソーシャルチャレンジ for High School 事業

## 1 目的

社会構造や雇用環境が急速に変化し、予測困難な時代となる中、一人一人が持続可能な社会の担い手として、その多様性を原動力とし、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待されています。さらに、新学習指導要領においては「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を生徒に育むことが求められています。

そこで、地域の課題について地域社会と連携しながら解決を図る体験的な活動を通して、いつまでも安心・安全に住み続けられる街づくりや、地域に生きる主権者として望ましい合意形成の在り方等について、深く考える姿勢を育成するとともに、持続可能な社会の実現に向け、地域社会で主体的に活動できる人材の育成を目的として、本年度から事業を実施しています。

## 2 事業の内容

全ての県立高等学校及び中等教育学校において、高校生が、地域の課題について地域社会と連携しながら解決を図る体験的な活動を実践するとともに、愛媛で働く魅力の発信、主権者教育、多世代交流等の様々な活動を行うことにより、地域に愛着を持ち、地域社会で主体的に活躍できる人材を育成しています。

### (1) 地域の課題解決プロジェクト

〈実施校〉

県立高等学校・中等教育学校（全日制課程）55校（分校8校を含む。）

〈活動内容〉

#### ○課題解決に向けた研究活動

全ての生徒が地域課題とその解決策について学習します。また、生徒が考えたアイデアを基に、地元大学や企業等、地域と連携・協働しながら、SDGsへの取組や地方創生等の現代社会の課題解決に向けた活動を実施します。

（実践例）

- ・地域観光ガイドの企画・実践
- ・地域町おこしイベントの企画・開催
- ・地域の伝統文化の伝承の講習会の企画・運営
- ・SDGs達成に向けた地元企業やNPO法人と連携した取組
- ・環境保全や自然保護に向けた大学と連携した取組
- ・特産品普及に向けた高校生からの提案・実践 など



〈内子 観光客への歌舞伎面ワークショップ〉



〈小松 校内にえひめ教育資料館を開設〉



〈三崎 地域と協働したカフェ運営〉



〈大洲農業 「バショウ」から有機肥料を開発〉

○高校生による地域の魅力再発見・PR動画の作成

各学校において、高校生の目線で、愛媛で暮らすことや、働くことの意義を再発見し、地域の魅力を発信するPR動画を作成します。

(実践例)

- ・地域に根ざした企業等におけるSDGsの実現に向けた取組の紹介
- ・地元Uターン就職者等へのインタビュー動画の作成
- ・地域の優れた伝統や文化、新たな魅力の発信

○成果発表及び成果普及

① えひめスーパーハイスクールコンソーシアムの開催（東中南予3地区）

「スーパーサイエンスハイスクール」の指定校やえひめ高校生次世代人材育成事業等に取り組んだ高校生による成果発表や、県立高校等における先進的な教育活動の報告、意見交換等を通して、研究成果の普及と深化を図るとともに、主体的に学び地域課題の解決に取り組もうとする気運を醸成しています。

また、本コンソーシアムを、中学生や保護者、地域、教育関係者に公開して、各校の特色ある取組を紹介し、本県県立高校で学ぶ魅力を伝えています。本年度の実施状況は、以下の通りです。

地域	日時	参加者
東予	1月23日(火)	<u>1349人</u> 高等学校等(1127人) 中学校(222人) (会場参加者382人 オンライン参加者967人)
中予	1月26日(金)	<u>1275人</u> 高等学校等(1054人) 中学校(218人) 大学(3人) (会場参加者383人 オンライン参加者892人)
南予	1月25日(木)	<u>1114人</u> 高等学校等(1084人) 中学校(28人) 大学(2人) (会場参加者531人 オンライン参加者583人)



ステージ発表



地域活性化サミット



PR動画表彰式

②課題解決コンテスト「ソーシャルチャレンジグランプリ」での成果発表

全ての学校が、課題解決に向けた研究活動の成果をまとめ、一次審査に応募し、東中南予地区でそれぞれ3校、計9校の優秀校を選出しました。今年度の優秀校は、

東予ー小松高校、今治北高校、今治東中等教育学校

中予ー上浮穴高校、伊予高校、松山西中等教育学校

南予ー八幡浜工業高校、川之石高校、宇和高校

となりました。優秀校は、各地区で開催された「えひめスーパーハイスクールコンソーシアム」において実践発表を行うとともに、今治北高校、上浮穴高校、宇和高校の生徒は、パネルディスカッションのパネリストとして参加しました。実践発表の結果、今年度の県知事賞は今治北高校に、教育長賞は松山西中等教育学校、川之石高校に決定しました。以下に、3校の取組を簡単に紹介します。

《愛媛県知事賞》

学校名：今治北高校

主 題：地域課題の解決を通じた持続可能な地域社会を実現する人材の育成

内 容：今治タオルの普及に向け、企業と連携して、新商品「アイマスク」「ネックピロー」の企画提案と開発を行った。また、タオルを製造する過程で発生する大量の残糸を利用し、小学生と園児を対象としたヘアゴムとマグネットを作るワークショップを開催した。



《愛媛県教育委員会教育長賞》

学校名：松山西中等教育学校

主 題：流れ着く牡蠣養殖パイプの削減のために

内 容：「2023 スポGOMI ワールドカップ」に参加した際に、広島県のカキ養殖にスパーサーとして使われているパイプが多く漂着し、海洋ゴミ問題になっていることを知った。そこで、海の微生物によって溶けるといふ、生分解性プラスチックを使用したカキ養殖ができな  
いか、研究を行った。



《愛媛県教育委員会教育長賞》

学校名：川之石高校

主 題：持続可能な西宇和地域を目指して

～農福連携と産学連携6次産業化で地域を豊かに～

内 容：西宇和地域は、日本一のカンキツ栽培地帯であるが、担い手不足は深刻で、安定的な労働力確保が課題となっている。そこで、障がい者支援事業所からの協力のもと、農福連携による労働力不足を解決する地域モデルを創造するとともに、生産された農産物を生かして「ポン酢」の商品開発を行う6次産業化に取り組んだ。



③「高校生による地域の魅力再発見・PR動画」の最優秀賞、優秀賞を表彰

作成された全ての作品を、生徒が1人1台端末を活用して視聴できるようにし、優秀な作品に投票するシステムを採用しました。本年度は、最優秀賞に上浮穴高校が、優秀賞に川之江高校、今治北高校、長浜高校が輝きました。各校が作成した動画は、高校教育課ホームページ内のえひめスーパーハイスクールコンソーシアム特設サイトから閲覧することができます。

(2) 社会共生プロジェクト

○主権者・消費者教育プログラム

〈実施校〉

県立高等学校・中等教育学校（全日制・定時制・通信制課程、専攻科）延べ 67校（分校9校を含む。）

〈活動内容〉

民法改正により令和4年4月1日から、成年年齢が18歳に引き下げられたことにより、主権者教育・消費者教育の指導方法について、更に研究を深め、地域社会に生きる主権者・消費者として、自ら考え行動できる人材の育成を図る取組を推進し、生徒の政治的教養や消費者としての意識の高揚を図っています。

(実践例)

- ・選挙管理委員会関係者、NPO法人、消費生活センター等と連携した講演、講座やその後の討論の実施、模擬投票や模擬議会の実施
- ・市町等と連携した地域の課題現場の見学と報告会等の実施
- ・1人1台端末を活用した、定期的なオンライン討論会の実施 など

#### ○多世代交流プログラム

〈実施校〉

県立高等学校・中等教育学校（全日制課程）55校（分校8校を含む。）

〈活動内容〉

高校生が、保育所や高齢者施設において、幅広い世代との交流を通して、地域の人々と心でつながる活動を企画・実践することで、他者を思いやるとともに、自己を肯定する豊かな心を持つ生徒を育成しています。

(実践例)

- ・高齢者介護施設での交流や幼児との農業体験を通じた交流
- ・保育園児や高齢者施設利用者一人一人とのオンライン交流の実施 など

### 3 まとめ

本事業の実施により、各校は、これまで以上に地域に根差した魅力的な研究を展開しています。また、課題解決に係るコンテストへの参加校が増加するなど、研究成果のPRに多くの生徒が活躍をしています。来年度以降の各校の取組に注目していただきたいと思ひます。



〈ソーシャルチャレンジグランプリ表彰式の様子〉